

令和7年度



なかよしぴよぴよだより

柞田子育て支援センター 25-5115

9月はまだ残暑が厳しく、秋の訪れが待ち遠しいですね。暑い夏を経験した子ども達は、元気そうですが夏の疲れが出やすい時期です。体調の変化に気をつけて無理のないようにみていきましょう

支援センターでは、天気や気温を見ながら戸外遊びを十分楽しみたいと思います。親子で、そしてお友達と過ごせる時間を思いきり楽しみましょう。♪



なかよし広場 9月の予定 赤ちゃんサロン

月	火	水	木	金
1 自由遊び アケボノスタジオ 撮影会 (希望者)	2 大型絵本	3 <u>身体測定</u> 赤ちゃんサロン	4 <u>身体測定</u> 戸外遊び	5 キャンドル作り (限定10組)
8 運動遊び	9 戸外遊び	10 制作 敬老の日ブーケ作り 赤ちゃんサロン	11 制作 敬老の日ブーケ作り	12 制作 敬老の日ブーケ作り
15+ 敬老の日	16 お絵描き くまさん	17 赤ちゃんサロン	18 しゃぼん玉遊び	19 戸外遊び
22 シール遊び	23 秋分の日	24 赤ちゃんサロン 離乳食講座	25 <u>ほっと相談</u> 英語遊び 10:30分~	26 神社で遊ぼう
29 誕生日会 	30 紙芝居	★26日(金曜日)いつも駐車場で利用している神社で遊びます。10時15分ごろから行こうと思います。秋の気配を感じながら、遊べるといいですね。(*^_^*)		

赤ちゃんサロンよりお知らせ



はじめての離乳食講座は、好評でした。ご参加くださった皆様ありがとうございました。

次回(2回目)の離乳食講座は9月24日です。テーマは『月齢別野菜の離乳食』です。3日と10日の赤ちゃんサロンで限定10組で申し込みを受け付けています。

離乳食についての悩みごとなどあれば先生に相談もできます。気軽に声を掛けて下さい。

<親子ふれあい運動遊び> 10月1日(月)10時~

昨年初めて開催した岩田理香先生(丸亀市レクリエーション協会)の親子ふれ合い運動遊びを今年も計画しました。先生が紹介して下さる色々なあそびを通して親子で楽しんでいただけたらと思います。

参加希望の方は17日水曜日から25組で受付を始めますので、申し込み用紙に記入してください。電話での受け付けはしておりませんのでご注意ください。

9月の制作

敬老の日になんで、手形やお花紙で作った可愛いブーケ。おじいちゃん、おばあちゃんに「ありがとう」の感謝の思いを込めて・・・プレゼントしてみませんか？



ぴよぴよクラブの予定

大野原いきいきセンター

2日(火)	ボール遊び
9日(火)	制作「ブーケ作り」
16日(火)	運動遊び
30日(火)	シール遊び

9月のリトミックは都合によりお休みです。よろしくお祈りします。



なかよし広場ママ友メッセージ No.50



気候変動などで増加傾向にある台風や大雨。避難が遅れると大きな被害に繋がります。大人だけでも大変な状況の中、乳幼児のいる家庭は避難に時間がかかり、より危険に。改めて危険を認識し、日ごろから災害に備えましょう。



危機管理教育研究所
危機管理アドバイス引用



👉 事前に入手したい情報

★「防災マップ」の確認

避難経路や避難場所などは、全国の自治体が作成している「防災マップ」で確認できる。また、職場や子どもの通う学校の地域のハザードマップ（予想される被害の状況、どこが浸水しやすく、どのくらいの水位になるのか、避難経路、避難先など）の確認をしておく。

★防災アプリの利用

防災アプリをダウンロードして、自分の地域や災害レベルを設定し、危険が迫ったら教えてもらえるようにしておく。（日頃から隣近所の方と交流しておき、災害が起きた時にはお互いに声を掛けあって避難する。

★乳幼児がいる場合

- 冠水すると汚水も流れるので、浸水した水に赤ちゃんを触れさせないようにベビーバスを用意しておく。
- 雨で濡れたままの服を着せていると、体調を崩しやすくなる。避難所ですぐに着替えられるように、着替えを多めに準備しておく。
- 子どもに持病がある場合は薬を準備。避難所などでは食物アレルギーのある子どもにまで支援が届かないことも。アレルギーがある場合は、対応のレトルト食品やおやつなどの用意も忘れずしておく。

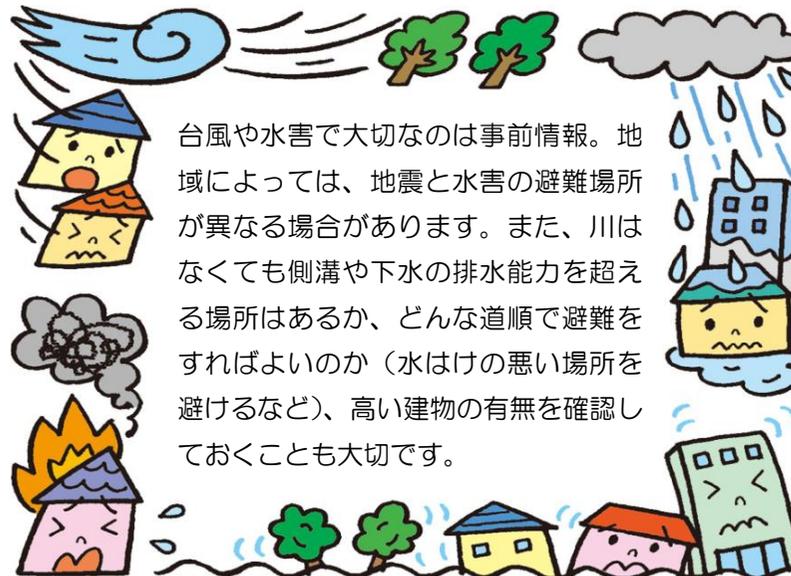
👉 どんな行動をすればよいのか

- 電気のブレーカーを落とす。
- ラジオやインターネットなどで情報を得て、「警報レベル3」（避難準備・高齢者等避難開始）で早めに避難を。
- 川や水路から離れて避難。地下道を通らない。
- 水の深さがくるぶしくらいでも、流れが速い状況なら無理せず、高いところで救援を待つ。

子どもと一緒にできる備え

Q 子どもの安心感につながる備えは？

A 災害時は、不安や環境の大きな変化から、子どもが強いストレスを感じてしまう事もあります。
ぬいぐるみや絵本など、子どもがホッとできるものがあると、心の安定に役立ちます。



台風や水害で大切なのは事前情報。地域によっては、地震と水害の避難場所が異なる場合があります。また、川はなくても側溝や下水の排水能力を超える場所はあるか、どんな道順で避難をすればよいのか（水はけの悪い場所を避けるなど）、高い建物の有無を確認しておくことも大切です。



9月1日（月曜日）

アケボノスタジオ撮影会

子ども園に写真屋さんが来て子どもの写真を写してくれます。在園児が写した後に支援センターのお友達を写してくれます。11時すぎからの撮影予定ですが、時間は多少前後すると思います。よろしくお願ひします。